Mar.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

適　用　規　格					
定　格	使用温度範囲	-55℃～ +105℃（注1）	保存温度範囲		-10℃～ +60℃（注3）
	使用湿度範囲	20% ～ 80%　（注2）	保存湿度範囲		40% ～ 70%　（注3）
	適合コネクタ	DF51A-28DP-2DSA/DS(##) DF51-28DEP-2C(##)	電　流		AWG 22～24 : 2.0A AWG 26 : 1.5A AWG 28 : 1.0A AWG 30 : 0.5A
	適合端子	DF11-22SC(A)/SCF(A) DF11-2428SC(A)/SCF(A) DF11-30SC(A)/SCF(A)	UL・C-UL 規格	電　圧	AC/DC 30 V
	電　圧	AC/DC 250V		電　流	AWG 22 : 2.0A AWG 24～28 : 1.0A AWG 30 : 0.5A

性　能

	項　目	試　験　方　法	規　格	QT	AT
構造	外観,構造,仕上げ	目視，寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電気的性能 △4	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	－
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡･絶縁破壊がないこと。	○	－
機械的性能	繰り返し動作 (Snメッキ)	30 回の抜き差しを行う。	破損､ひび､部品のゆるみがないこと。△4	○	－
	繰り返し動作 (Auメッキ)	50 回の抜き差しを行う。		○	－
	結合力及び離脱力 (Snメッキ)	適合コネクタで測定する。	結合力　120.2N以下 離脱力　7.2N以上	○	－
	結合力及び離脱力 (Auメッキ)	適合コネクタで測定する。	結合力　76.9N以下 離脱力　7.0N以上	○	－
	耐振性	周波数 10～55 Hz､片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 10サイクル試験する。	破損､ひび､部品のゆるみがないこと。△4	○	－
	耐衝撃性	加速度 490 m/s^2､持続時間 11 ms､ 正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。		○	－
	コンタクトの 引抜き力	ハウジングを固定し電線を引張った際の 強度を測定する。	11.8N以上	○	－
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃､湿度　90～95 %中に 96 時間放置する。 （室温に1～2時間放置後測定）	①絶縁抵抗：500 MΩ以上　△4 ②破損､ひび､部品のゆるみがないこと。	○	－
	温度サイクル	温度 -55 → 105℃ 時間　30　→30分 を 5 ｻｲｸﾙ 試験する。 槽の移し変えは時間は2～3分 （室温に1～2時間放置後測定）	①絶縁抵抗：1000 MΩ以上　△4 ②破損､ひび､部品のゆるみがないこと。	○	－
	耐熱性	温度 +105 ± 2℃中に96時間放置する。		○	－
	耐寒性	温度 -55 ± 3℃中に96時間放置する。		○	－

備考
(注1)通電時の温度上昇を含む。
(注2)結露のないこと。
(注3)基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。
　　基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△4	5	DIS-H-00004500	TS.MIYAKI	SZ.ONO	20181212

試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512（適応規格JIS C 5402）を適用している。	承　認	HS.OKAWA	20160707
	検　図	YN.TAKASHITA	20160707
	担　当	TT.OHSAKO	20160707
	製　図	TT.OHSAKO	20160707

注　QT:確認試験　AT:製品検査　○:適用項目	図番	SLC-362066-00-00	
HRS 製品規格表	製品名	DF51-28DS-2C	
ヒロセ電機株式会社	製品ｺｰﾄﾞ	CL543-5042-7-00	△4 1/1

技書規２３１－１